

2020年8月11日

各 位

会 社 名 野村マイクロ・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 八 卷 由 孝  
(コード番号：6254)  
問合せ先 取締役管理本部長 三 阪 雅 登  
(TEL 046-228-5195)

「中期経営計画 HiPES - 2023」の策定に関するお知らせ

記

当社グループは、2023年度までを計画期間とする中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、計画の詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以上

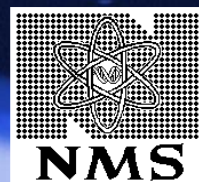


# 中期経営計画 HiPES - 2023

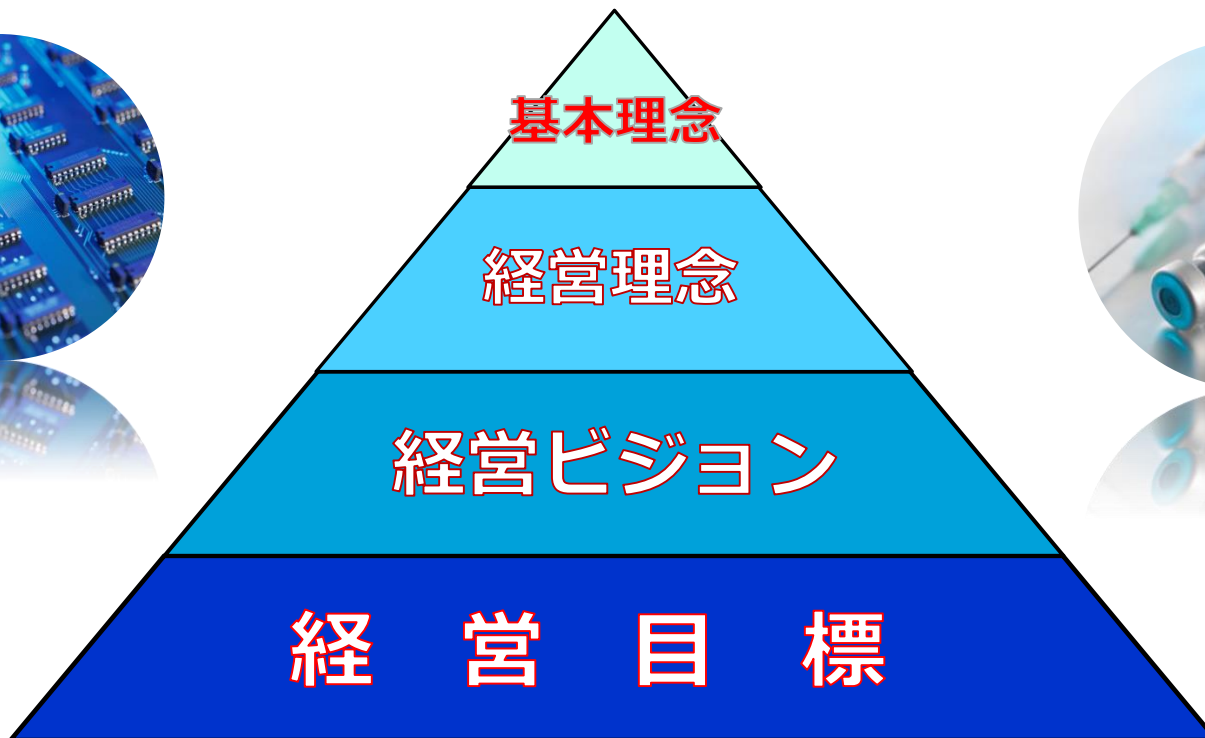
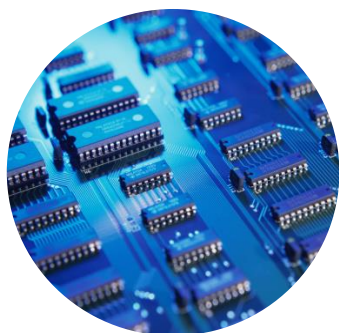
Hi-Purification & Eco-Solution & Health-Support  
2023

2020年8月11日

野村マイクロ・サイエンス株式会社



水の純化とその関連技術を通して社会に貢献し、  
持続的に成長できる会社



**①高純度化技術（High Purification）②環境関連技術（Eco Solution）を基盤とし、③健康サポート（Health Support）に貢献し、持続的な成長と総合的基盤強化を目指す**

## **①高純度化技術（High Purification）**

**世界水準の超純水製造技術と分析技術を駆使し、半導体&FPD工場に装置を納入**

**超微量分析技術で超純水の今後のあるべき姿や方向性を提案**

## **②環境関連技術（Eco Solution）**

**今後の地球環境を守るため、超純水製造で培った技術をベースとした環境関連商品を提案・提供**

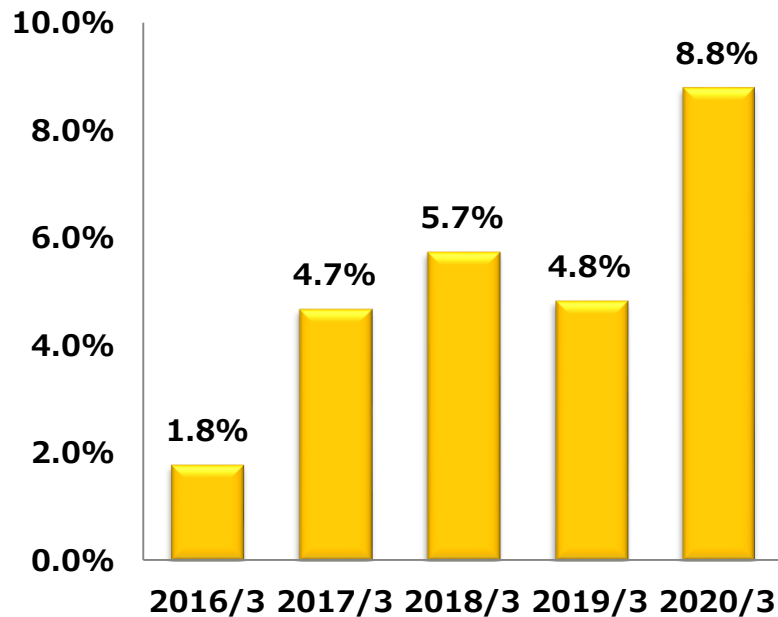
## **③健康サポート（Health Support）**

**製薬工場向けの注射用水や精製水設備を通じ人々の健康を支援**

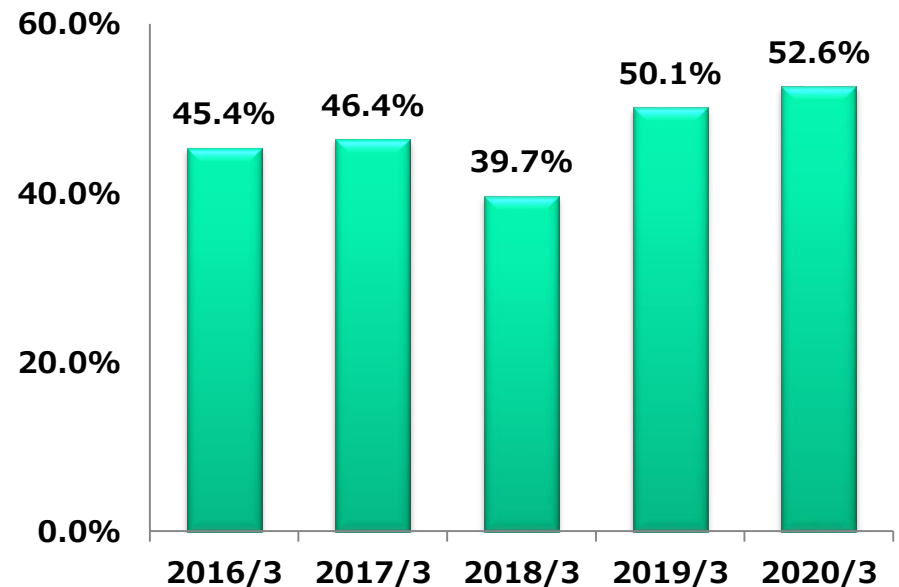
- 1. アジアにおける半導体・FPD・製薬工場向け  
純水・超純水装置の卓越した企業（プロミネント企業）  
を目指す！**
- 2. 営業利益率10%以上を重要業績評価指標（KPI）とし、  
自己資本比率の向上等財務基盤の強化を図る**
- 3. 顧客満足度が高いハイテク技術とサービスを提供し、  
地球環境貢献と社会的価値向上を目指すHiPES企業**
- 4. 企業価値を向上させ、株主還元を高める**

## 営業利益率10%以上を重要業績評価指標（KPI）とし、 自己資本比率の向上等財務基盤の強化を図る

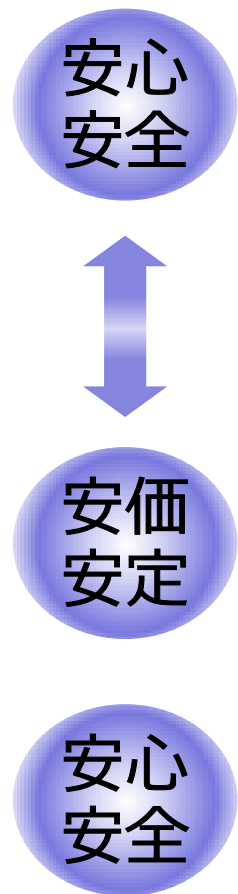
### 売上高営業利益率（%）



### 自己資本比率（%）



事業領域は半導体、FPD、製薬向け純水・超純水製造装置



	国内	海外
最先端メモリー ロジック (300mm)	野村マイクロ 他2社	野村マイクロ 他2~3社
センサー FPD 後工程	野村マイクロ 他2社	野村マイクロ 他数社
製 薬	野村マイクロ 他数社	検討領域

## High Purification

微量金属除去フィルター（クラングラフト®）  
超純水製造装置 超微量分析技術  
高純度薬品 その他



## Eco Solution

機能水製造装置（NOMUREXON®シリーズ）  
特殊工場排水処理 有価物回収 その他

## Health Support

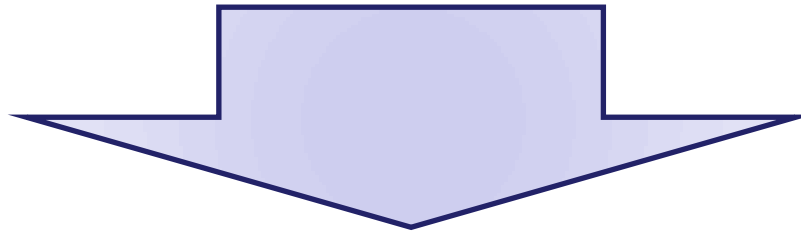
注射用水製造装置 精製水製造装置  
ピュア蒸気発生装置





- 半導体は中長期的に世界規模で市場増加見込であり、日本、中国、韓国、台湾を中心に新規投資拡大基調 **(資料1)**
- FPD関連投資は一服感あるも、有機EL投資は継続 今後新規ディスプレイ技術に注目
- 国内は半導体関連投資及び内需製薬関連投資が活発
- マイナス要因としては、米中貿易摩擦・日韓問題・新型コロナウイルス感染拡大など

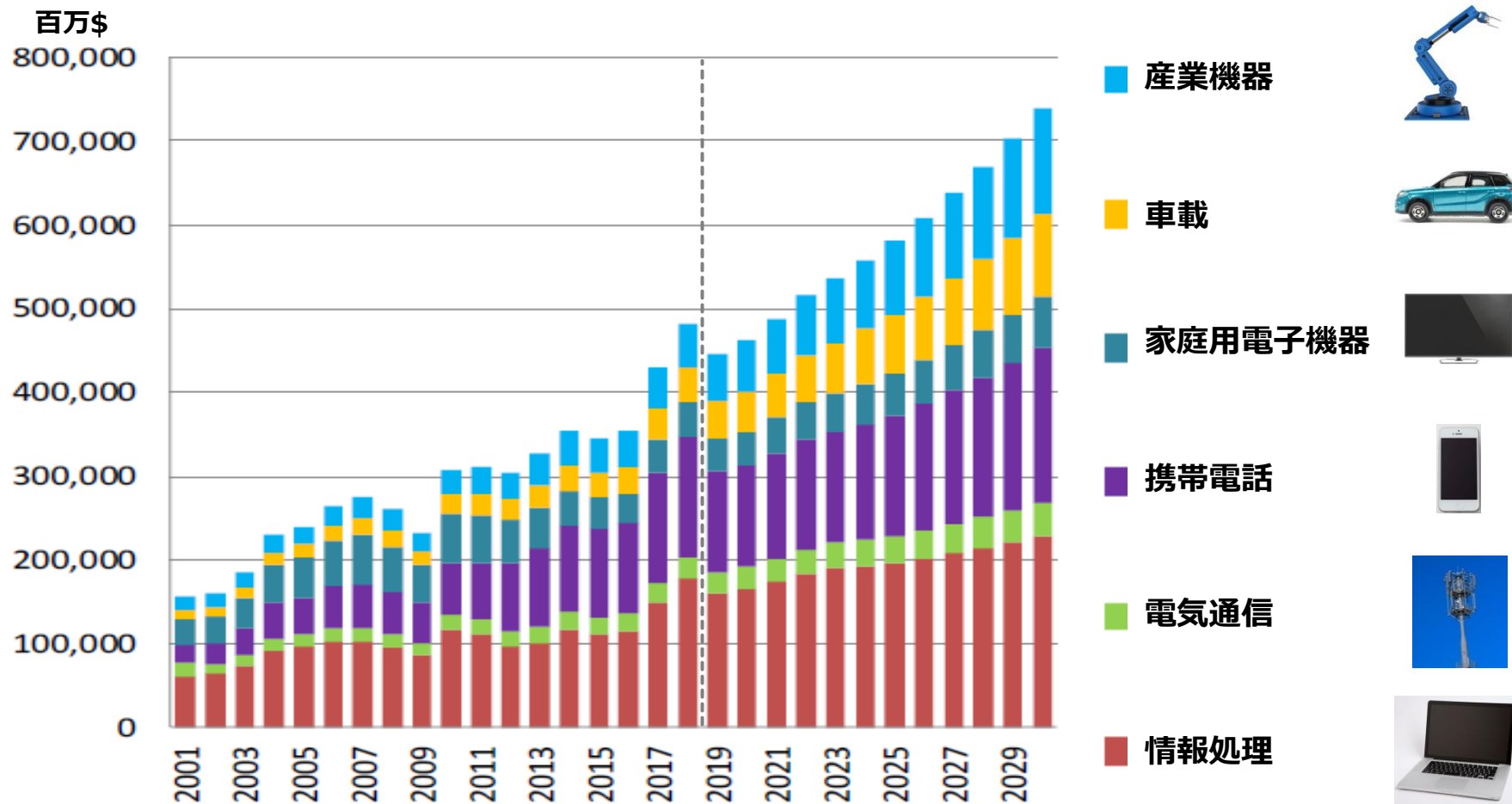
## 当社グループの対応



- 好調な半導体・製薬投資の波に乗り遅れることなく、積極的な受注活動を推進 **(資料2,4)**
- 地域特性を十分把握し、採算面重視の案件選別及びメンテナンスの強化に注力
- グローバル企業や国内半導体・製薬企業に特に注力し、野村マイクロ・サイエンスグループの経営資源を効率的に活用
- 最高純度の超純水水質向上と省コスト・省スペース・環境保護のための技術と装置開発 Smart UP 3 を促進 **(資料3)**

当社の主な事業領域である半導体は今後も右肩上がり

## 用途別半導体の金額市場規模



(出所) HIS Markit 2019.8.22 SEMI マーケットアップデート

## 1. 成長が見込まれる半導体関連メーカーへの対応強化

高成長が見込まれる分野



5G



データセンタ



AI



センサー・電子部品



電気自動車

高成長分野での  
コア製品見極め



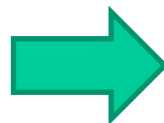
ターゲット  
ユーザー  
絞込み



拠点整備・再編  
人材配置の適正化  
情報収集力強化

## 2. 事業のバリューチェーン拡幅

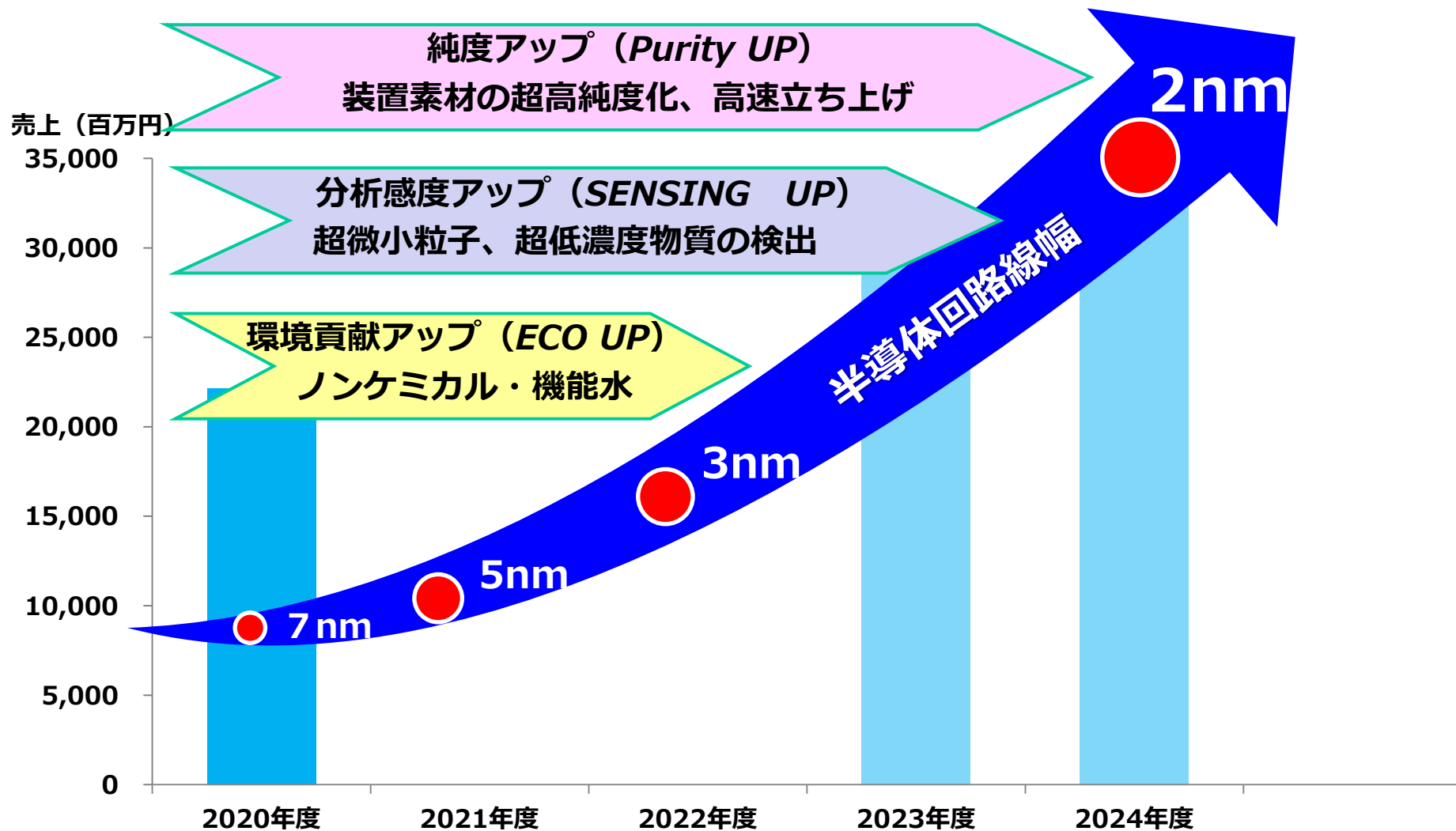
装置信頼性の強化  
装置の安定運転に向け  
メンテナンス事業強化



パートナー企業と協業した  
ソリューション事業への拡幅



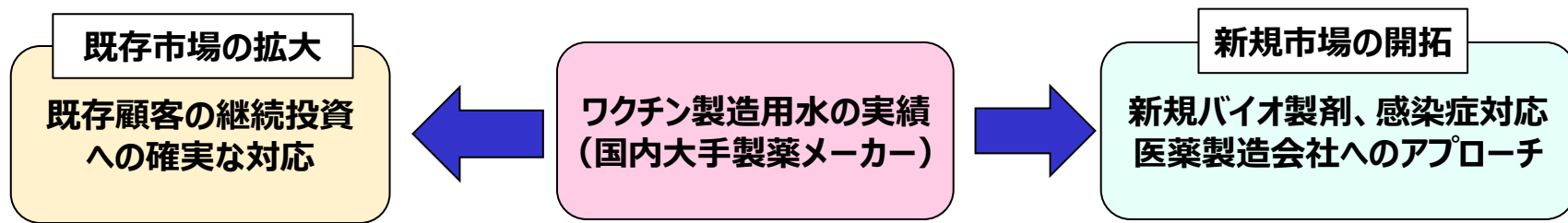
## SMART UP3 ロードマップ



## 1. 外部環境の変化に対応した営業強化

外部環境の変化：ワクチン製造会社の継続投資、バイオ製剤の伸長

COVID-19に代表される感染症対応新規ワクチン、医薬市場拡大



## 2. 更なる成長へ向けたアクション

先行優位性のある実績・技術を核に：超濾過WFIの積極提案

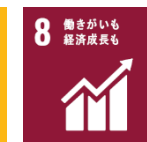
新規分析技術の開発・導入：インライン微生物検出計の開発

製薬用水設備のサービス強化：製薬施工スタッフの強化  
パートナー企業との連携



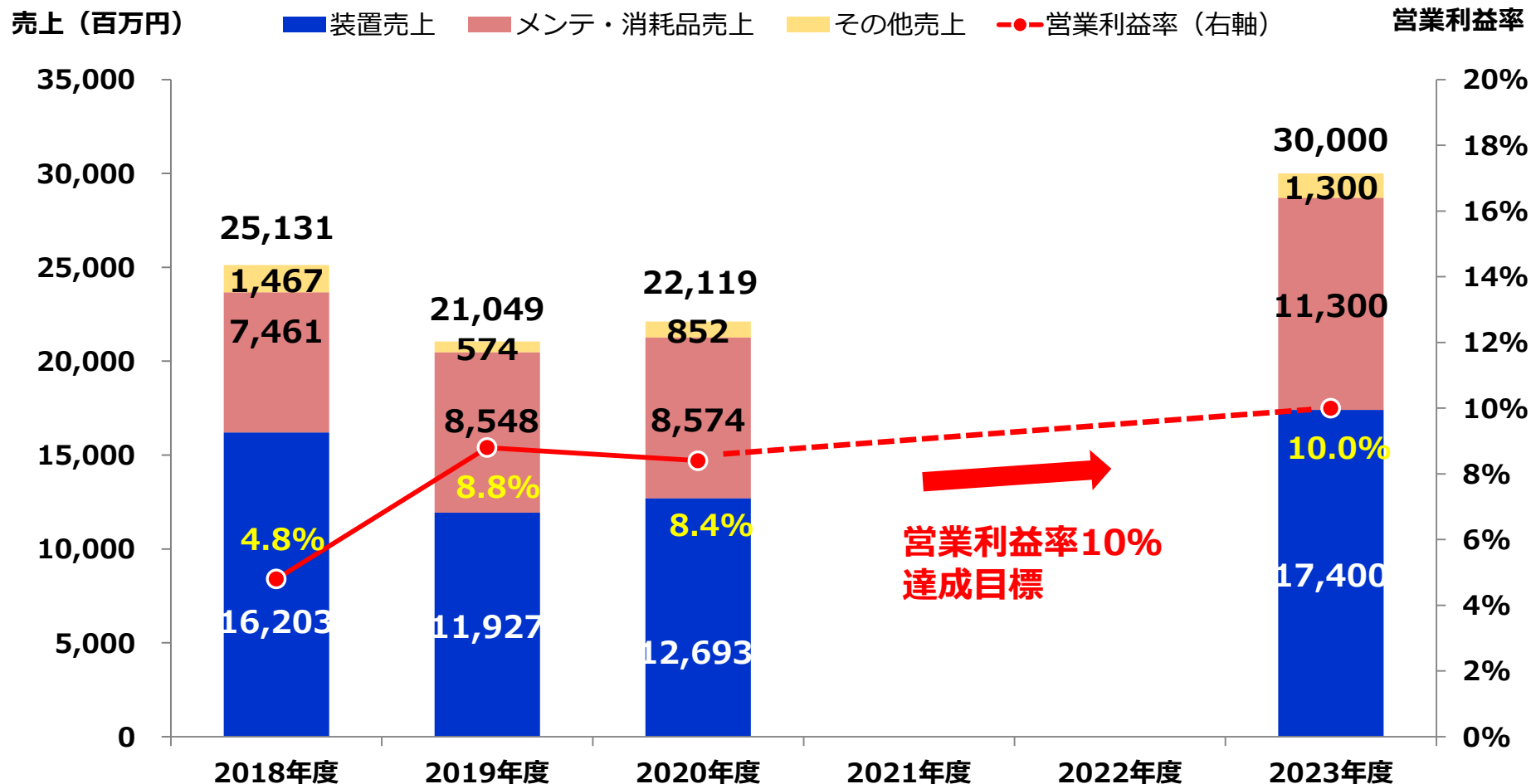
## 顧客の要望にあったイノベーションの提供と パートナーシップにより、持続可能な開発目標に貢献

- 3 純水で人々の健康サポートに貢献
- 6&14 排水回収と処理により、水資源の有効利用と水域の環境保全に貢献
- 7 省エネ技術と装置の提案により、エネルギー原単位の改善に貢献
- 8 強みを生かしたビジネス展開による成長と社員の生きがいに貢献
- 9 超純水で顧客の製品品質と安定操業に貢献
- 11&15 水ストレスの緩和と廃棄物の排出抑制により、自然と生活環境の保全に貢献
- 12 廃棄物の排出削減、資源化、環境負荷低減に貢献
- 13 製品ライフサイクルを考慮した提案により、低炭素型社会の実現に貢献



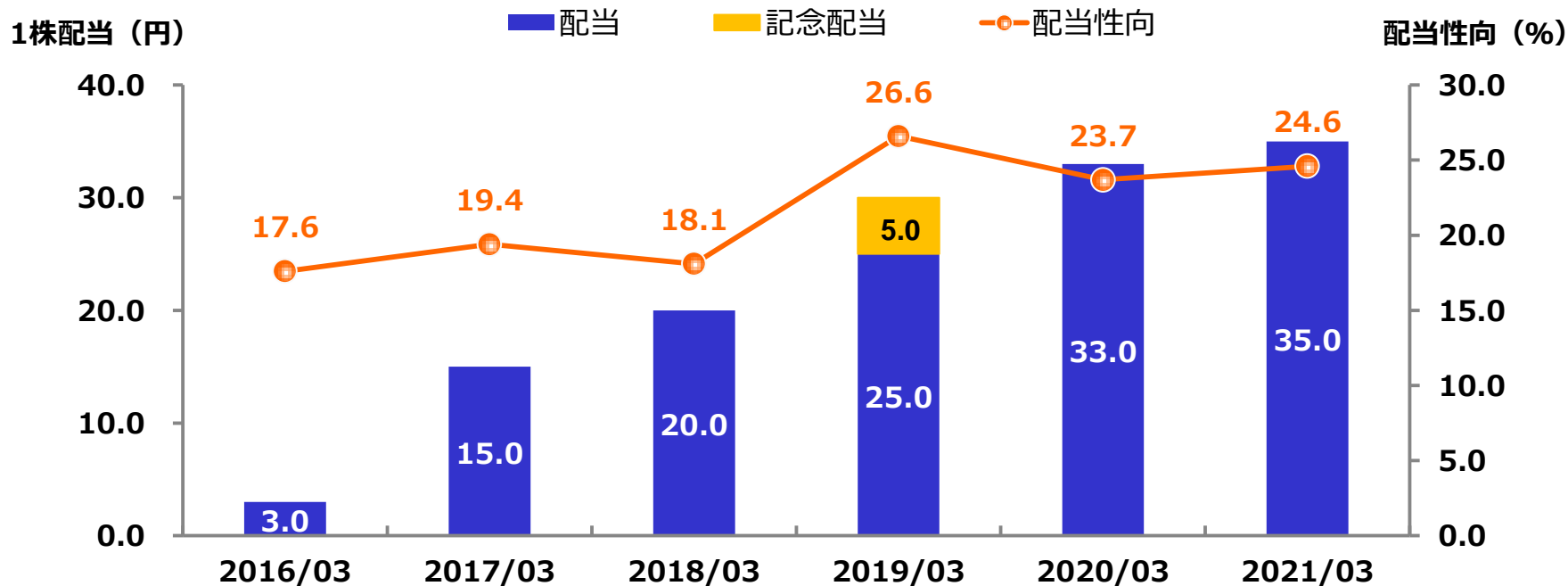
# 中期計画売上高・営業利益率の推移

超純水事業領域の拡大と拡販 海外市場でのシェア拡大と採算性の向上  
新規商品、新規技術の早期上市と売上、利益への貢献



# 利益配分に関する基本方針

企業価値を向上させ、利益水準に応じた株主還元を高める



決算期	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月 (計画)
配当性向	17.6%	19.4%	18.1%	26.6%	23.7%	24.6%
1株配当	3.0円	15.0円	20.0円	30.0円 (うち記念配当5.0円)	33.0円	35.0円



- 本資料には野村マイクロ・サイエンス株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

**野村マイクロ・サイエンス株式会社**

URL <https://www.nomura-nms.co.jp>